

# VECTORWORKS® 2025

ベクターワークス総合カタログ





# WHAT IS VECTORWORKS

Vectorworks 2025は、デザイナーがテクノロジーに多くを求める時代において、ユーザーの働き方を反映したデザインソフトウェアの体験を提供します。

この最新バージョンは、直感的なビジュアルライゼーションとインタラクティブ性に重点を置き、容易にデザイナーが思い描いたビジョンを実現できるツールを備えています。

**すべてのデザインフェーズで驚きのクオリティ Vectorworks 2025.**

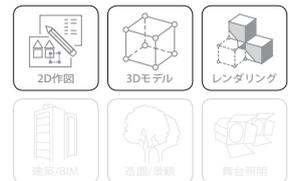
## VECTORWORKS 2025 LINEUP

Vectorworks 2025は、汎用作図機能を搭載した基本製品のFundamentals (ファンダメンタルズ)、BIM対応の建築・インテリアデザイン向け製品のArchitect (アーキテクト)、ランドスケープデザイン向け製品のLandmark (ランドマーク)、ステージ&ステージライティングデザイン向け製品のSpotlight (スポットライト)、そして全製品の機能を搭載した最上位製品、Design Suite (デザインスイート)の5製品のラインアップをご用意しています。

### Vectorworks 2025 シリーズの基本製品

#### Vectorworks Fundamentals

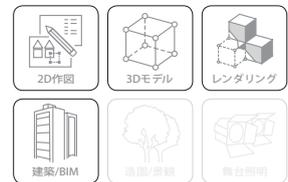
2D/3D汎用作図機能に、プレゼンボード作成機能や図面と連動できる表計算機能など、数多くの基本作図機能に加え、高品質レンダリング&3Dビジュアライズ機能を搭載したVectorworksシリーズの基本製品です。



### BIM対応の建築設計、インテリアデザイン支援機能を搭載した建築/内装業界向け製品

#### Vectorworks Architect

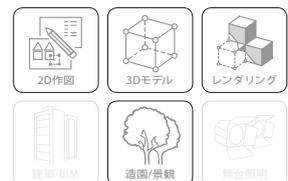
建築設計や内装、ディスプレイデザインに対応した先進的なBIM・インテリア設計支援機能、拡張機能、さらには豊富な建築向けのデータライブラリを搭載した建築/内装業界向け製品です。



### 都市計画・ランドスケープデザイン支援機能を搭載した都市計画/造園業界向け製品

#### Vectorworks Landmark

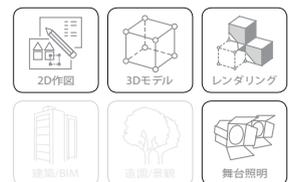
地形モデルや多彩な植栽、灌水設備計画等に対応するランドスケープデザイン支援機能、さらには豊富な造園向けのデータライブラリを搭載した都市計画/造園業界向け製品です。



### ステージデザイン・舞台照明計画支援機能を搭載したエンタテインメント業界向け製品

#### Vectorworks Spotlight

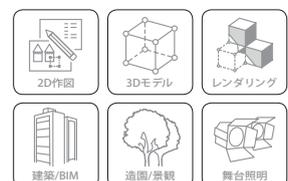
ステージプランニングやライティング計画に対応した先進的な舞台照明計画支援機能、さらには各種メーカー製のトラスや照明機材、音響機器等の豊富なデータライブラリを搭載したエンタテインメント業界向け製品です。



### すべての設計支援機能を搭載した最上位製品

#### Vectorworks Design Suite

基本となる2D/3D汎用作図機能と3Dビジュアライズ機能に加え、BIM・インテリア設計支援機能、ランドスケープデザイン支援機能、舞台照明計画支援機能のすべての設計支援機能を搭載したVectorworksシリーズの最上位製品です。



# 機能

## 基本機能

Vectorworksは2D作図、3Dモデリング、高品質レンダリング機能を標準搭載しています。どのパッケージを購入しても、図面の作成から3Dモデル生成、レンダリングパース、プレゼンボードの作成までをVectorworksだけで完結することが可能です。

## 作図管理

建具や寸法線などをクラスで、各フロアの図面をレイヤで管理することで、複雑な図面の修正や確認作業を効率的に行えます。複雑な図面も、クラスとレイヤで表示 / 非表示 / グレイ表示の3つの表示方法を切り替えることができるため、必要な情報だけを表示させるなど、効率的な作図が可能となります。

# 製品タイプ

運用状況によって、製品タイプをスタンドアロン版とネットワーク版から選択可能



オフィスのデスクトップパソコンと外出用パソコンの2台で使用する場合はスタンドアロン版がおすすめです。

サーバーで同時に使用できるライセンス数を一元管理できるため、日々のライセンス使用状況を見ながら効率良くライセンスの運用が可能です。

▶ 詳しくはP3をご覧ください

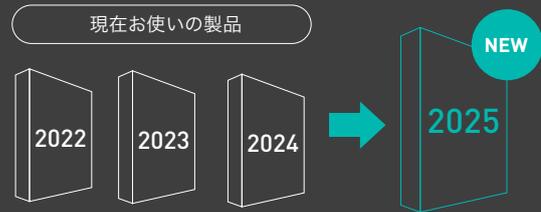
# より使いやすく

## バージョンアップサービス

現在お使いの旧バージョンのVectorworksを最新版へバージョンアップできるサービスです。バージョンアップ対象はVectorworks 2022/2023/2024をお持ちのユーザーとなります。設計・デザイン環境が大きく向上した最新バージョンを是非ご検討ください。

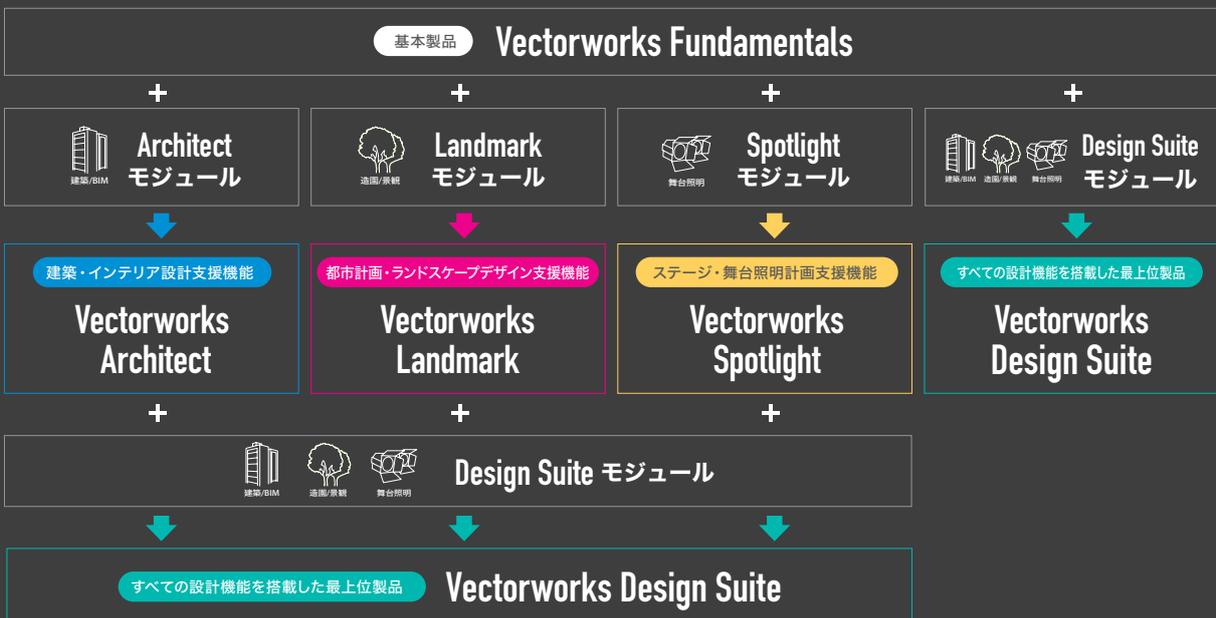


「バージョンアップのご案内」をお送りしています。  
対象ユーザーで「バージョンアップのご案内」が届いていないお客様は、お手数ですが弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。



## モジュールを追加して上位製品へグレードアップ

モジュール製品は、現在お使いのVectorworksを上位製品にグレードアップできるサービスです。モジュールの追加には最新バージョンが必要となります。旧バージョンをお使いの場合は、Vectorworks 2025へのバージョンアップが必要になります。



# PRODUCT TYPES

## 利用環境で選択できる製品タイプ

Vectorworksはご利用の環境、運用状況にあわせて、スタンドアロン版とネットワーク版の2種類の製品タイプからお選びいただけます。

インストールプログラムは専用サイトからのダウンロードが必要です。

詳しくはこちらから

<https://www.vectorworks.co.jp/Vectorworks/types.html>



## Vectorworks 2025 スタンドアロン版



インターネット経由でライセンス認証してVectorworksソフトウェアを使用することができます。1ライセンスで2台のマシンにインストール可能で、場所を選ばず外出先などでも作業がはかどるだけでなく、導入後のメンテナンスも容易になるため、時間やコストの削減が期待できます。1ライセンスから購入可能で、オフィスと外出用パソコンの2台持ちでの利用、リモートワークにおすすめです。

インストール可能台数	1ライセンスで2台のパソコンにインストール可能 ※ 同時稼働はできません
起動認証	インターネット経由のアクティベーション ※ 30日間はネットワークから切り離して利用可能
ライセンス管理方法	インストールするパソコンごとにライセンス管理
その他	・ インターネット接続環境が必須 ・ 正式シリアル発行はユーザー登録が必須
購入単位	1ライセンスから購入可能
利用シーン	・ オフィスと外出用パソコンの2台持ちで利用したい ・ リモートワーク ・ 個人の設計事務所

スタンドアロン版のもう一つの選択肢

## サブスクリプションライセンス

サブスクリプションライセンスは「必要な時に」「必要な種類」「必要な期間」をお求めいただけます。

短期のプロジェクトなら月間サブスクリプション、年間で費用を管理されたい場合には年間サブスクリプションなど、使用したい期間に合わせたプランを選択することで導入費用を抑えることができます。

### ■ 期間限定プロジェクトでの利用が可能

サブスクリプションライセンスは期間利用のライセンスです。プロジェクトでスタッフを一時的に増員し、Vectorworksを利用しなければならないときなどにも有効です。必要なときに必要な種類のライセンスをお求めいただけます。

### ■ 製品バージョンを選んで利用が可能

プロジェクトや取引先に合わせて、Vectorworksの最新バージョンから3つ前のバージョンまでの内1つのバージョンを選んで利用が可能です。

### ■ 永続ライセンスとサブスクリプションライセンスを組み合わせた導入が可能

Vectorworksの永続ライセンスは引き続きご提供します。短期利用を目的としたサブスクリプションライセンスと組み合わせることで、お客様のご利用プランやシーンに合わせて導入が可能です。

### ■ サブスクリプションライセンスと永続ライセンスの主な違い

種類	サブスクリプションライセンス		永続ライセンス	
	年間	月間		
利用期間	年間	月間	永続	
ライセンスタイプ	スタンドアロン版		スタンドアロン版 / ネットワーク版	
価格 税 込	Fundamentals	132,000円	13,200円	393,800円
	Architect Landmark Spotlight	198,000円	19,800円	523,600円
	Design Suite	264,000円	26,400円	676,500円
	ソフトウェア アップデート	無償 (ライセンス期間中)		有償 (バージョンアップ対象は3バージョン前まで)

※表記価格は消費税を含んだ税込価格です。※月間サブスクリプションは、直接ベクターワークスジャパンへのお申し込みとなります。販売店/家電量販店経由ではお申し込みいただけません。

詳しくはこちらから

<https://www.vectorworks.co.jp/subscription/>



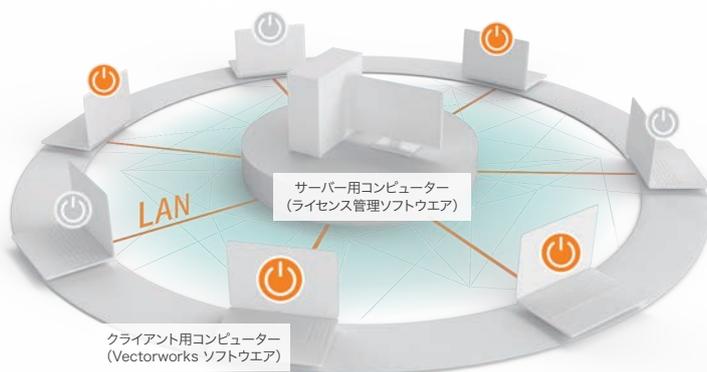
サブスクリプションライセンスについて詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.vectorworks.co.jp/subscription/price.html>





# Vectorworks 2025 ネットワーク版



サーバー/クライアント形式でライセンスを管理し、Vectorworksソフトウェアを使用することができます。サーバー用コンピューター上のVectorworks Site Protection Server (以下、ライセンス管理ソフトウェア) が同時稼働するライセンス数を管理し、クライアント用コンピューターで、必要な時に、ライセンス管理ソフトウェアからライセンスを取得してVectorworksを起動することができます。

インストール可能台数	インストール台数の制限なし ※ 同時稼働数をサーバーで管理
起動認証	同一LAN内のサーバー用コンピューターでの認証 ※ 最長30日間のライセンス持ち出し機能が利用可能
ライセンス管理方法	サーバーでライセンス一括管理
その他	インターネット経由のアクティベーション
購入単位	5ライセンスから購入可能 ※ 追加ライセンスは1本から購入可能
利用シーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の部署間で共同利用</li> <li>サーバーで全ライセンスを管理したい</li> <li>学校のパソコン教室など</li> </ul>

## ネットワーク版ライセンスとは

### ネットワーク版ライセンスの特長

#### 特長 1 購入ライセンスは同時稼働数のみ

ネットワーク版はインストール台数の制限はありません。同時稼働ライセンスの数以上のパソコンにVectorworksをインストールでき、フローティングライセンスでの運用が可能です。OSはWindows、Macいずれも可能です。

#### 特長 2 6ライセンスからボリュームディスカウントが適用

6ライセンス以上からボリュームディスカウントが適用されます。価格については、P.22「製品価格一覧」をご覧ください。

#### 特長 3 ライセンス管理ソフトウェアでライセンスを一括管理

管理者は、Webブラウザでライセンス利用状況のモニタリング、ライセンス利用状況/クライアント接続状況のログ出力、ユーザー権限/ライセンス持ち出しモジュール/最大持ち出し日数などの管理が可能です。

#### 特長 4 ライセンス持ち出し機能

ネットワーク環境から一時的に切り離しての利用が可能。外出や出張などサーバーと接続ができない場合でも、Vectorworksをご利用できます。持ち出し期間は最長30日まで設定が可能です。

### ネットワーク版ライセンスの適している場面

予算の関係上、パソコン台数分の導入が難しい

総務担当者

導入ライセンス数は「同時稼働数」でOK

社内にあるパソコン台数分のライセンスを購入をしなくてもライセンスの同時稼働数の購入で済むので、費用を抑えることができます。また、6ライセンス以上からボリュームディスカウントが適用されます。

ライセンス利用状況を把握しきれしていない

IT管理者

Webブラウザでライセンス利用状況をモニタリング

汎用Webブラウザを介してライセンスの稼働状況の監視ができます。ライセンス利用状況/クライアント接続状況のログ出力もできるので分析にも役立ちます。

専門機能を必要な時だけ使用したい

CAD設計者

必要な専門機能(モジュール)を効率的に使用

専門機能を付加するネットワーク版モジュール製品は最低限の数だけ購入すれば、必要な時に使い回すことが可能です。

# A SIGHT TO BEHOLD AT EVERY DESIGN PHASE

## すべてのデザインフェーズで驚きのクオリティ

Vectorworksのインターフェイスは直感的で分かりやすく、そして作図しやすい環境を提供しています。

基本パレットには作図ツール、ツールセットには作図補助やモデリングツールが格納され、デザイナーは素早くツール群にアクセスしデザインワークに移れます。

ラインアップの各製品は固有の作業画面を備えており、業界に合わせて一連のツールとコマンドが用意されています。一般的な2Dでの描画や3Dでのモデリングに必要な基本機能をはじめ、図面によって異なるニーズに対応するために、複数の作業画面を作成することも可能です。

VectorworksはCADであり、BIMツールであり、モデラー、レンダラー、そしてプレゼンテーションツールでもあります。デザイナーの設計環境に応えるソフトウェア、それがVectorworksです。

### 01 基本パレット

基本パレットには、「直線」や「四角形」ツールをはじめ、さまざまなオプションが集約された作図ツールと「フィルット」や「トリミング」ツールなどの編集ツールが搭載されています。多くのツールは2D図形だけでなく、3Dモデルの作図/編集にも対応しています。

### 02 ツールセットパレット

ツールセットパレットには、2D/3D対応の寸法ツールが集約された「寸法/注釈」やモデリングツールが集約された「3D」など、機能別のツール群が収納されています。Architect、Landmark、Spotlight、Design Suiteでは、建築設計向けの「建物」や造園計画向けの「敷地計画」、舞台照明計画向けの「照明」などのツールセットが搭載されており、それぞれを切り離れたフローティングパレットとして使うことも可能です。

### 03 属性パレット

線や面図形に、線種や色/ハッチング/グラデーション、不透明度/ドロップシャドウなどを設定できます。各種設定はポップオーバーで表示されるので、作業を妨げることがありません。

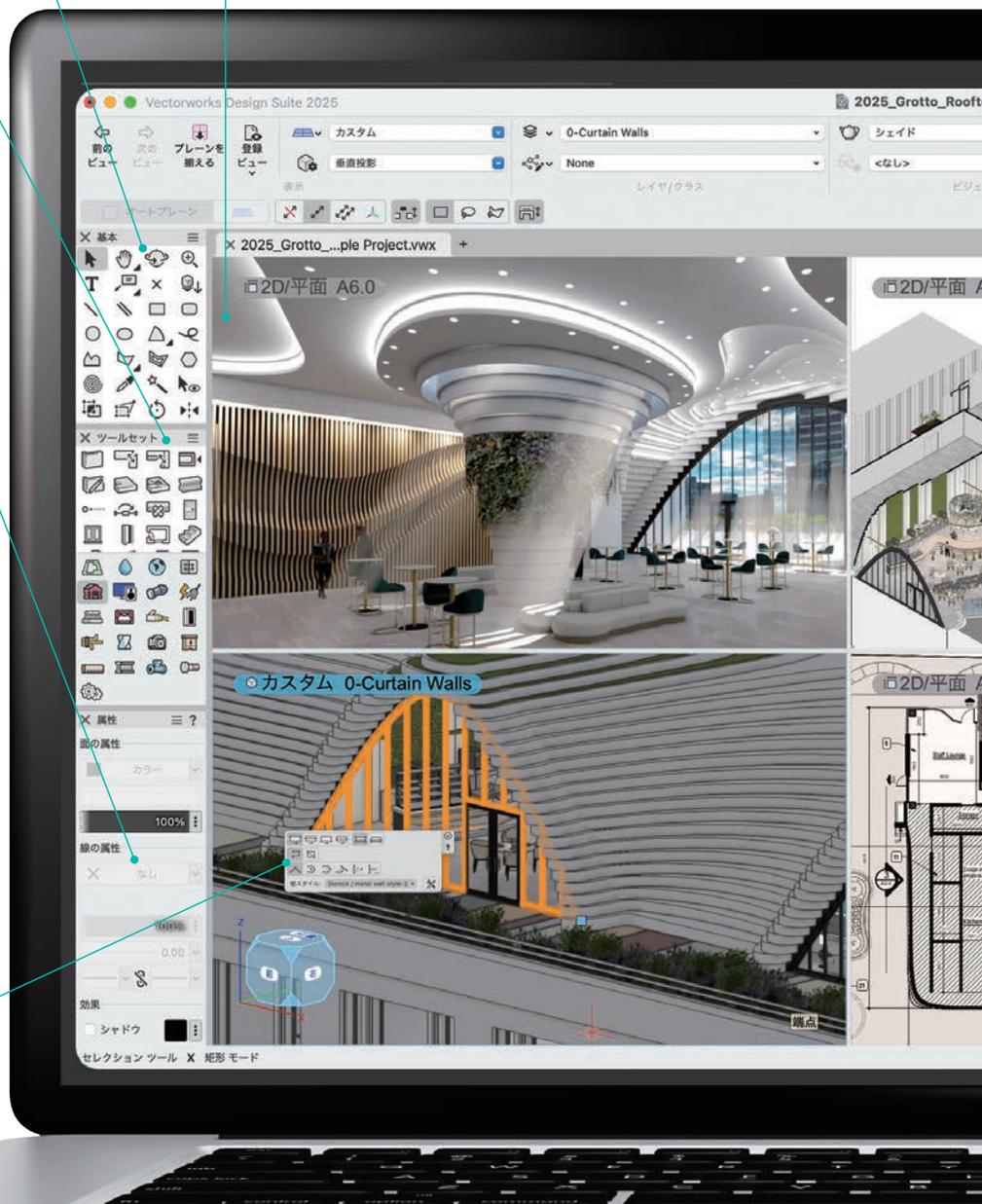
#### スマートオプションディスプレイ

マウスカーソルのすぐそばにツールを表示する、スマートオプションディスプレイはカスタマイズでき、よく使うツールセット、最後に使ったツール、ツールモード、ビューなどへ少ないマウスクリックで簡単にアクセスが可能です。



### 04 マルチビューウインドウ

図面と3Dモデルの正面/側面/斜め等、複数の方向から同時に確認をしながらの設計作業が可能です。クラスやレイヤの表示設定を自由に切り替えて必要なビューウインドウを設定でき、一度に複数のデザインレイヤやビューポートを確認できます。また、作業領域を確保するためにメインモニターとサブモニターに分けることも可能です。





## デザインワークを支えるテクノロジー

作図/モデリングエンジンには、製造系CAD/CAMの多くで使用されている、高精度な図形表現が可能な「Parasolidモデリングカーネル」を採用しています。アニメーションエフェクトや高速なズームイン/ズームアウトなどを実現する描画エンジンには、「Vectorworks Graphics Module(VGM)」を使用しています。レンダリングエンジンにはCinema 4Dフィジカルレンダリングエンジン「Cineware」が搭載されており、高速で高品質な3Dビジュアライズ機能を提供しています。

### タイトルバー/メニューバー

アップデート情報や使い方のヒント、トレーニングやイベントの情報などを通知する「ホームスクリーン」、使いたいツールやコマンドの名前を入力して目的の操作を素早く行える「クイック検索」を利用できます。

### 表示バー

ビューの状態や図形へのスナップをコントロールしたり、縮尺や文字の設定、クラスやレイヤのファイル構成を素早く切り替えるための機能が集約されています。



## 05 リソースマネージャ

シンボル図形、テキスト、ハッチング、スタイルなど多くのリソースライブラリを視覚的に一元管理することができます。利用中の製品で使用可能なライブラリを、インターネットを通じて追加・更新することも可能です。また、頻繁に使用するライブラリを「お気に入り」に指定することで、効率よく作業を行えます。

## 06 オブジェクト情報パレット

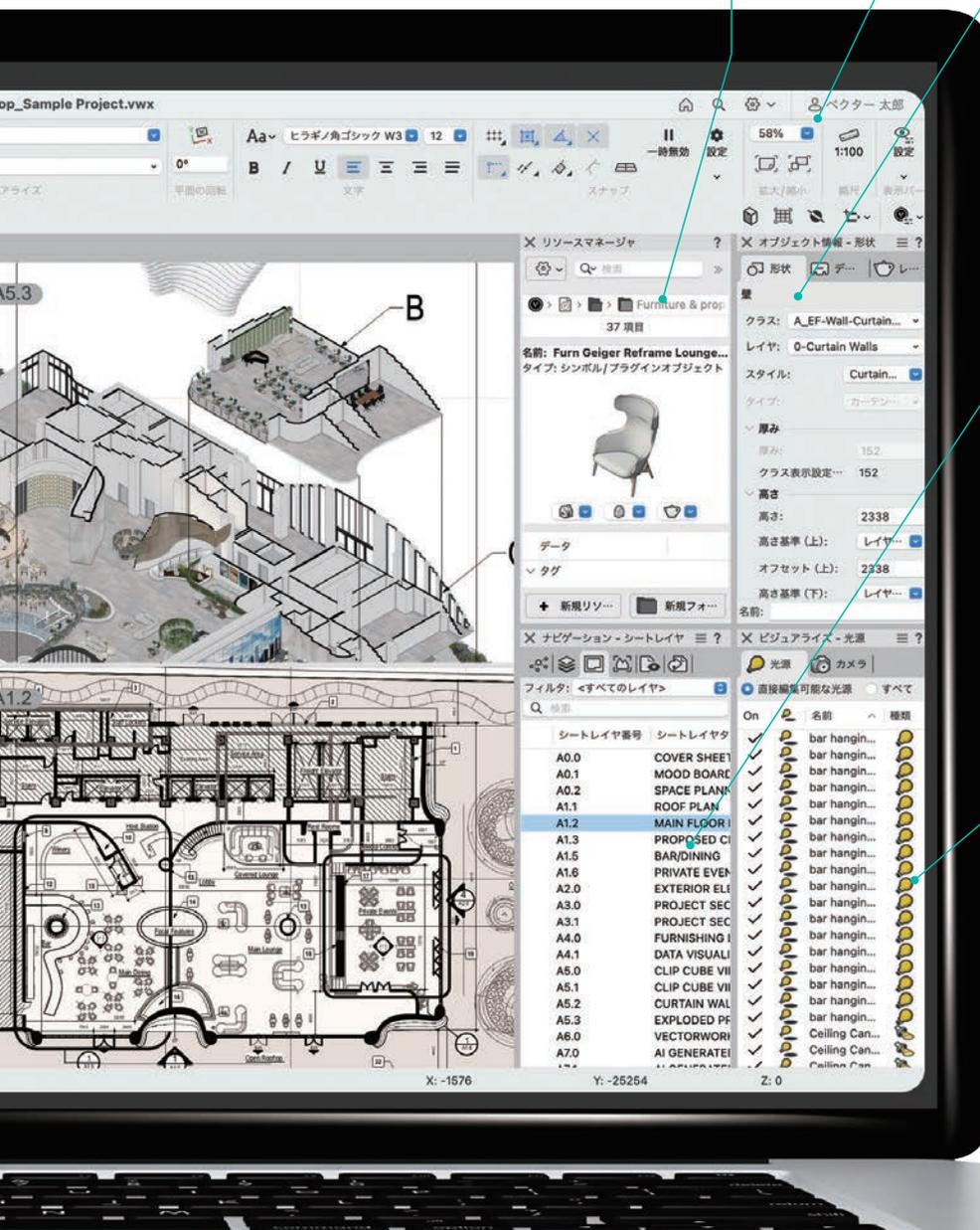
オブジェクト情報パレットでは、選択した図形に関連する高さや幅、座標、図形が属するクラスやレイヤなどの情報をはじめ、レコード、テキストなど、さまざまなオブジェクト情報が表示されます。基本図形情報のほか、建築などの専門オブジェクトでは、関連する詳細なパラメータ情報を表示します。

## 07 ナビゲーションパレット

ナビゲーションパレットでは、クラスやレイヤ、ビューポート、登録ビュー、ファイル参照などの図面要素に簡単にアクセス/操作でき、新規作成や削除も可能です。さらに図面上の選択図形のクラスやレイヤをナビゲーションパレット上で選択したクラスやレイヤに右クリック（コンテキストメニュー）から割り当てすることも可能です。※Architect、Landmark、Spotlight、Design Suiteでご利用いただけます。

## 08 ビジュアライズパレット

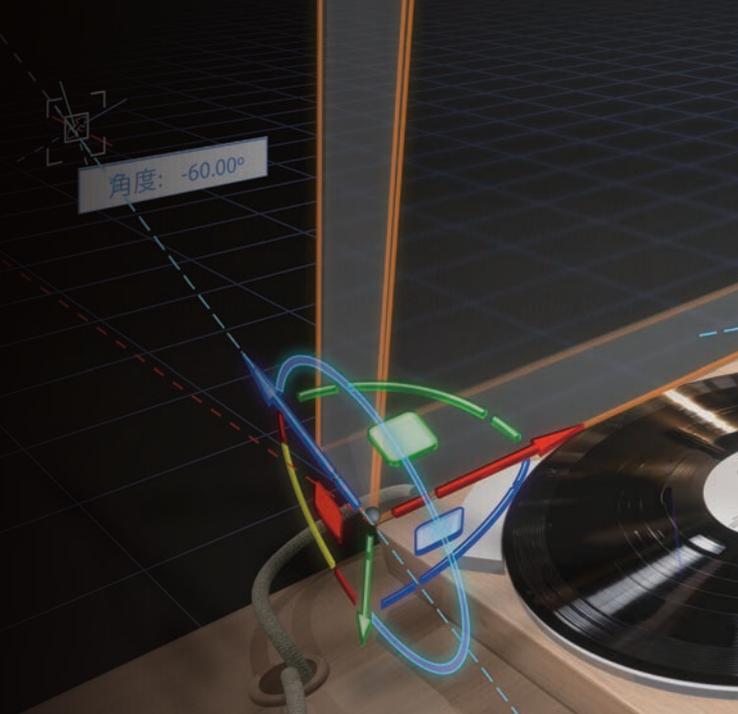
ビジュアライズパレットでは、図面上の光源やカメラを選択したり、光源ごとの点灯/消灯や影の有無の変更やカメラ視点を切り替えることができます。右クリックで詳細情報にアクセスし、例えば、カメラのフィルムサイズや縦横比、被写界深度や露出を変更することも可能です。



# WHAT'S NEW 2025

## Vectorworks 2025 新機能

Vectorworks 2025は、3Dのインタラクティブ性とビジュアライゼーションの再定義に重点を置き、デザイナーが作業環境内でモデル、設計意図、データをビジュアル化するための革新的なツールを提供します。これらのツールによって、十分な情報に基づいた設計上の意思決定を直感的かつ容易にし、設計プロセスの各段階におけるコミュニケーションと視覚的な理解をまったく新しいレベルに導きます。



### 01 二点透視投影

二点透視投影モードを使用して、従来の建築的な視点を簡単に作成できます。デザインレイヤで使用することももちろん、登録ビューやシートレイヤビューポートに追加して3Dビューを明確に理解するために利用することもできます。一度設定すると、ビューを変更しても二点透視は維持されます。

F A L S D NEW



### 02 オンスクリーンビューコントロール

ワンクリックでモデルの標準ビューに簡単かつ即座にアクセスできるナビゲーションが搭載されました。クリック・ドラッグによるインタラクティブなモデルの回転も可能です。XYZ軸、コンパスの方向、ワーキングプレーンの表示オプションにより、モデルの方向付けとナビゲーションが簡単に行えます。

F A L S D NEW



### 03 オブジェクトレベルの表示設定

オブジェクトごとに表示や非表示、ゴースト表示などの見え方をコントロールできるようになりました。さらにオブジェクトを分離して特定部分の表示方法を制御し、カスタマイズした図面やパースを作成してデザインの意図を明確に伝えられます。これらの表示設定は、デザインレイヤやビューポートで利用したりデータの可視化に保存することが可能です。クラスやレイヤの可視性と調和しつつ、迅速かつ柔軟なワークフローを見つけましょう。

F A L S D NEW

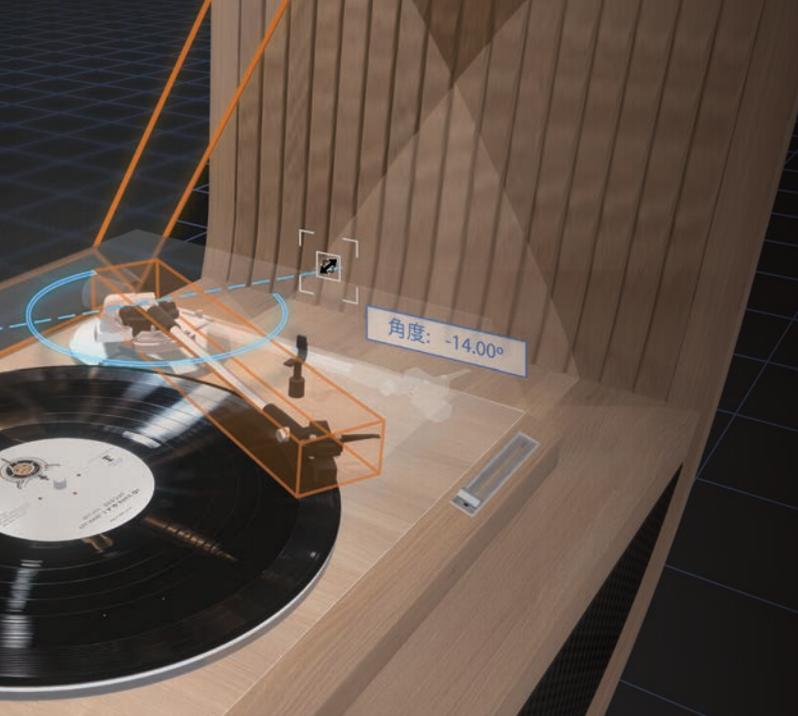


### 04 カウンタートップ

自動化と柔軟さを兼ね備えるツールを使うことで、効率的なモデリングと質の高いビジュアルを容易に実現します。新たに搭載されたカウンタートップツールは、縁の出やバックガードを詳細に設定し、こだわりのモデリングが可能です。シンボルを挿入すると自動的に表面が切り欠かれてシンクを素早く表現します。これらの正確な数値を拾い出してレポートの作成ができます。キッチンのカウンタートップや洗面のワークトップ、受付カウンターなどあらゆる場面でお使いいただけます。

F A L S D NEW





Vectorworksの各バージョンで  
搭載された機能は、こちらをご覧ください。

▶ <https://www.vectorworks.co.jp/whatsnew/updates.html>



## PRODUCT MARK

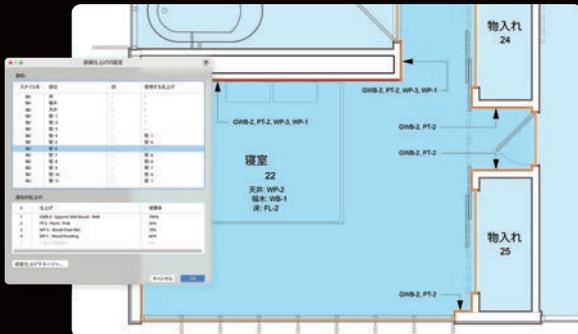
- F** Fundamentals   **A** Architect   **L** Landmark  
**S** Spotlight   **D** Design Suite

各ページ内の説明には、その機能を搭載している製品を各プロダクトマークで表記しています。グレーのマークは、同機能が搭載されていない製品です。また、特に記載がない場合でも Design Suiteにはすべての機能が搭載されています。

## 05 部屋仕上げ

スペースの部屋仕上げ機能により、シンプルな東西南北の壁以外にも室内の多数の壁を対象として、仕上げの一覧表やラベルを作成することができます。また、データタグやデータの可視化を活用してプロジェクトごとに仕上げデータを集計し、図書化のプロセスを効率化します。

**F A L S D NEW**



## 06 地質測点

共同作業者との間で地理的なプロジェクト基準点を迅速に設定する方法を提供し、時間を節約します。従来の基準点の機能は保ちつつ、地理座標（緯度経度）や真北角度を一度に指定することが可能です。さらに、地質測点を配置時に三角測量の残り2点を設定したり、プロジェクトの高さを使用できます。

**F A L S D NEW**



## 07 縁石、境界と柵

より正確な縁石や境界、柵を簡単に設計できる新しいツールが搭載されました。バスに沿って断面図形やシンボルを配置することでモデルを作成し、コーナーの指定や切り下げなどの挿入物も追加できます。さらに、舗床やランドスケープエリアに関連付けることも可能で、自動的にそれらの高さを認識し配置されます。スタイルを使用するとデザイン全体で一貫性が保たれ、修正などの手作業を軽減します。

**F A L S D NEW**



## 08 Showcase (プレビューライゼーション)

リアルタイムのプレビューライゼーションがVectorworks内で直接利用できるようになり、照明機器の直感的なライブコントロールが可能になりました。アプリケーションを離れることなくショーのテストランが行えます。数え切れないほどの照明とシーンの可能性を探り、プレビューライゼーションに基づいて実験、編集、調整を行って満足のいく結果を得ることができます。

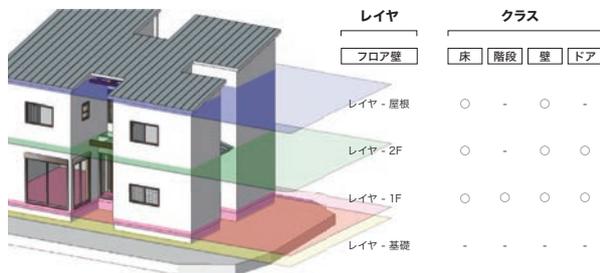
**F A L S D NEW**



# BASIC DESIGN

## 基本作図機能

### 01 ファイル構成



#### レイヤ・クラス

Vectorworksには、ドローイングソフトで馴染みのある「デザインレイヤ」に加え、部材の種類分けなどに利用可能な「クラス」を持っています。レイヤとクラスをうまく使い分けることで、プロジェクト内の各オブジェクトを自由に仕分けすることが可能です。建物を例にとると、各階をレイヤで分け、建材ごとにクラスを割り当てます。こうすることで、「1階の壁」や「2階の床」といった具体的なオブジェクトの指定ができます。

#### ビューポート・シートレイヤ

モデルを図面化するのに必要なのが「ビューポート」と「シートレイヤ」です。デザインレイヤ上で作図・モデリングしたものを、表示状態を維持したままビューポートとしてシートレイヤに作成します。ビューポートはデザインレイヤ上のオブジェクトを参照しています。設計変更の場合は、デザインレイヤのオブジェクトを修正することで、シートレイヤの図面（ビューポート）を更新して最新状態にできます。

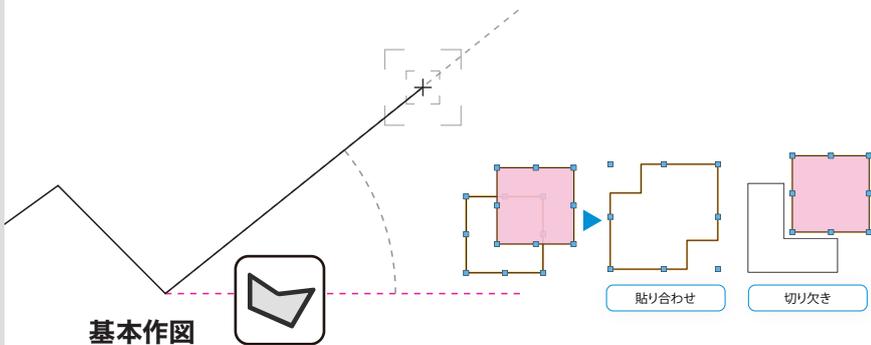
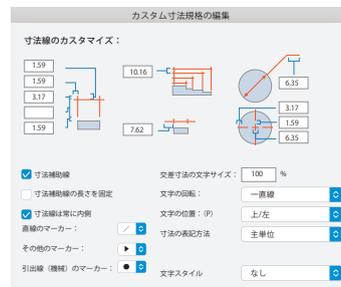


#### オーガナイザダイアログボックス

「登録ビュー」や「ファイル参照」など、Vectorworksファイルを構成する要素があります。これらを「オーガナイザ」ダイアログボックスで管理します。各要素の詳細設定だけでなく、ファイル内での表示設定もこのダイアログボックスで定義できます。

#### 単位・寸法設定 UP

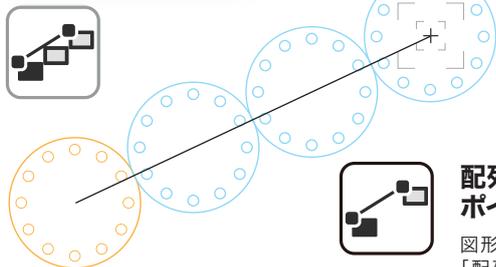
Vectorworksでは作図に必要な「単位」や「寸法規格」を設定でき、ご利用状況に合わせたカスタマイズが可能です。バージョン2025では、寸法に単位設定の概念を導入することで、ファイルで設定している単位とは異なる単位を寸法に設定することが可能です。



#### 基本作図

Vectorworksでの作図は直感的です。作成したい図形のツールを選択し、画面上でクリックすることで作成できます。直線以外の図形はすべて面属性を持っているため、フローリングの上にテーブルを作成する場合、隠れる部分を削除することなく、テーブル図形を重ねるだけで表現できます。また図形同士の重なり順や切り貼りによって、シンプルな形状から複雑なものまで作成可能です。

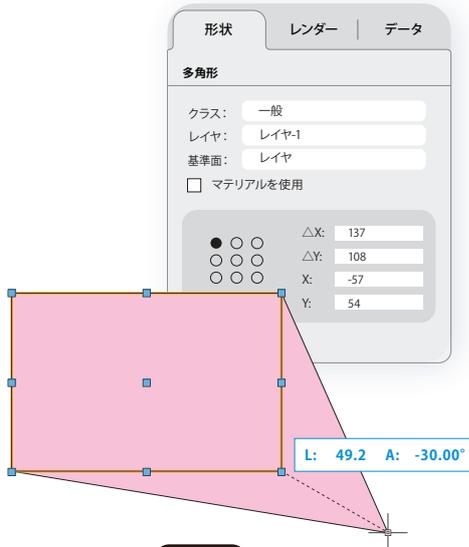
均等配置モード 複製の数:3



#### 配列複製・ポイント間複製

図形を繰り返し並べたい場合は、「配列複製」や「ポイント間複製」が効率的な作業をサポートします。

### 02 2D作図と加工



#### 変形ツール

「変形」ツールを使うことで、任意の頂点や辺を移動し、細やかな編集作業ができます。各オブジェクトは縮尺に応じたサイズを持っているため、作図前、作図途中、作図後を問わず数値による指定が可能です。

## 03 グラフィック表現

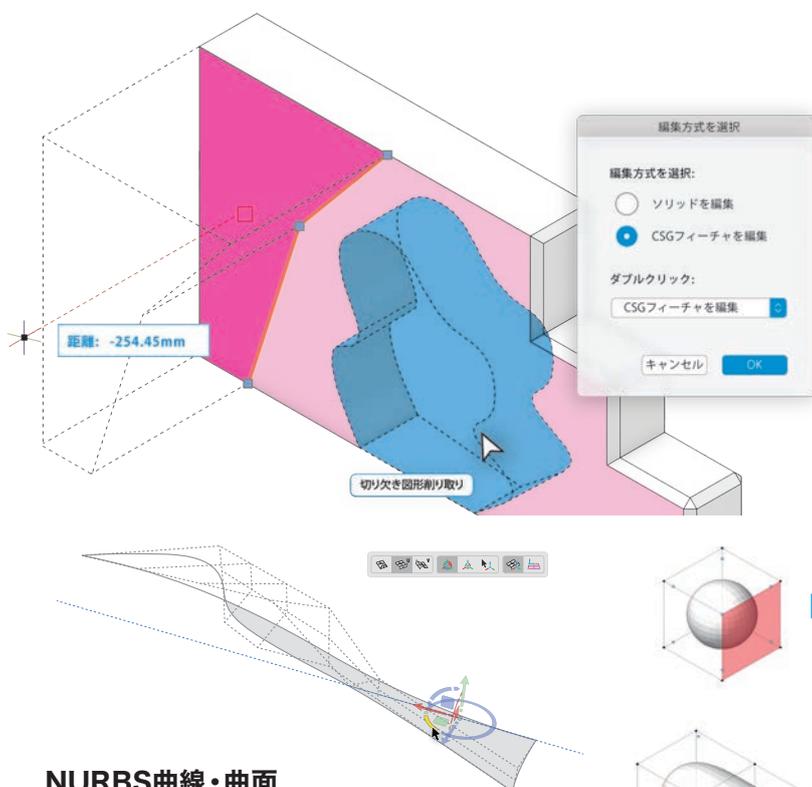
### 属性設定

線図形と面図形は、その属性として「ラインタイプ」や「カラー」「ハッチング」「グラデーション」「イメージ」などを定義できます。また、RGB、HSV、CMYKでの色指定が可能のほか、「不透明度」や「ドロップシャドウ」を表現でき、表情豊かなプレゼンテーションを支援します。



### イメージエフェクト機能

取り込んだ画像の表示したい部分だけをクロップできるため、プレゼンテーションボードのコラージュなどにも利用可能です。さらにイメージエフェクト機能により、露出やコントラスト、彩度や色温度など主要なパラメータを調整できるので、画像編集ソフトは必要ありません。



### NURBS曲線・曲面

自由曲面はNURBSを利用します。空間内の複数のNURBS曲線をつなげることで3D曲面を作成でき、任意の値を指定してソリッド化もできます。3Dドラッグャーを使って変形をすることで、直感的でスムーズなモデリングが可能です。

## 04 3Dモデリング

### 3D オートプレーン機能

2Dの基本作図ツールで描いた作図面を持ち上げてそのまま3D化でき、2D作図と同様に直感的なモデリングを実現します。オートプレーン機能によって3D空間内のあらゆる面を基準にモデリングできます。作成したモデルは噛み合わせたり削り取ったりすることで、より詳細なモデルにできます。また「テーパ」や「デフォーム」を使って、ひねったり曲げたり自在に編集可能です。

### サブディビジョンサーフェス機能

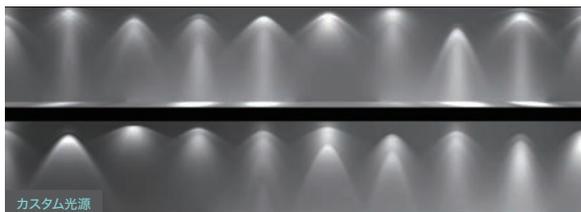
VectorworksにはPixar社のオープンソースプロジェクト「OpenSubdiv」を利用した「サブディビジョンサーフェス」機能も搭載されています。プリミティブな形状から、あるいはソリッドオブジェクトから滑らかな曲面を持った3Dモデルを作成可能です。滑らかさも5段階で調整できます。

# BASIC DESIGN 基本作図機能

## 05 レンダリング

### レンダリング

3Dモデルのプレゼンテーションにはレンダリングが重要です。素材を表現する「テクスチャ」は色や反射、透明度や凹凸を設定できるほか、Cinema 4Dのテクスチャを取り込むことも可能です。



### 光源ツール

シーンを明るくする「光源」はスポットライトや点光源に加え、市販の照明器具の配光データ (IES) を活用できるカスタム光源を利用できます。



### シーンレンダリング

シーン全体の効果には「環境光」や「間接光」を活用し、影の表現には「ソフトシャドウ」や「アンビエントオクルージョン」を指定することで、奥行きをもたせたシーンレンダリングを実現します。

被写界深度などのカメラエフェクトをリアルタイム処理が可能なシェイドレンダリングや、静止画に適した高品質なRenderworksレンダリングなど、プランに合わせた選択ができます。



### 幅広い表現と視点の設定

レンダリングエンジンは「Cineware」と「Redshift」を搭載し、リアリスティックから手描き風まで幅広いレンダリングに対応します。特定の角度には「レンダーカメラ」を配置することで、素早く視点移動ができ、カット割りの検討にも役立ちます。

## 06 データベースと収集

### レポート作成

ワークシートの作成に便利な「レポート作成」機能を搭載しています。ダイアログボックスを通じて、対象とするオブジェクトを指定し、集計したい情報を選択することで、容易にワークシートを作成できます。

1436 Flagship Store | Courtesy of Gabellini Sheppard Associates

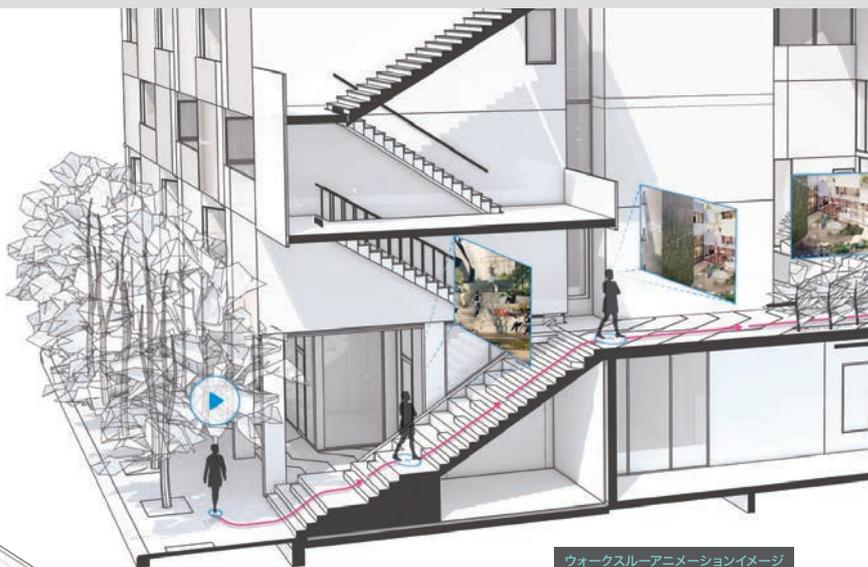
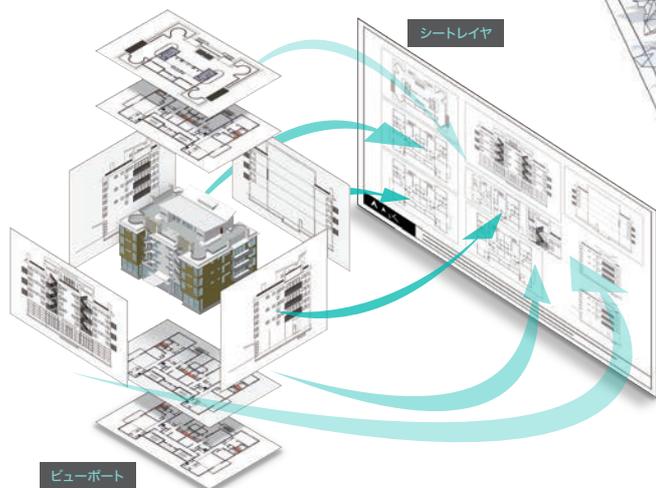
### レコードフォーマット

Vectorworksのあらゆるオブジェクトには、設計者が「レコードフォーマット」を使って任意のデータを割り当てることができます。割り当てられたデータはオブジェクト情報パレットで適宜修正でき、「ワークシート」に集計可能です。またオブジェクトと双方向に連動するデータベースとしても活用でき、ワークフローのどこでも設計に関わる情報を可視化できます。

## 07 プレゼンテーション

### プレゼンテーションシート

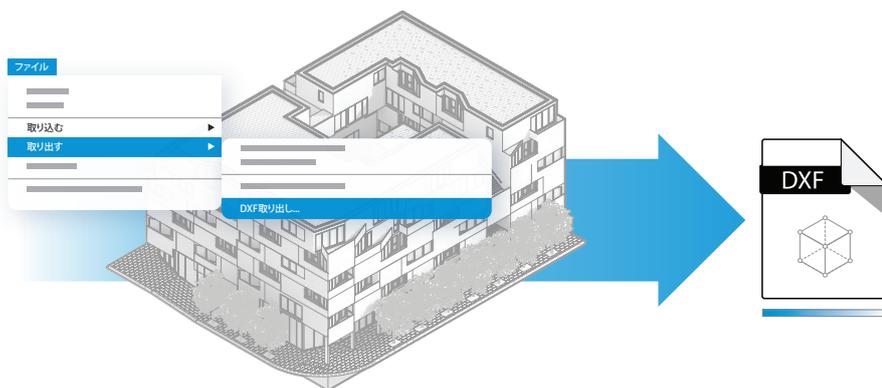
デザインをまとめ上げる場所は「シートレイヤ」です。デザインレイヤ上のオブジェクトを「ビューポート」として配置し、注釈などを追加しながら設計図書を仕上げることができます。画像の配置も可能で、プレゼンテーションボードとして利用可能です。ビューポートはデザインレイヤと連動しているため、設計変更の場合は、ビューポートを更新するだけです。



### デジタルプレゼンテーション

Vectorworksはデジタルプレゼンテーションにも長けています。「ウォークスルーアニメーション」はもちろん、没入感を体感できる「パノラマレンダリング」、敷地写真と3Dモデルを合成できる「Camera Match」を利用できます。

## 08 データ互換

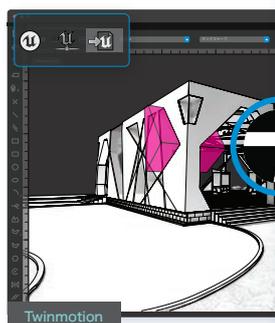


### 取り込み・取り出し UP

DXF、DWG、さらにDWFといった汎用CADデータの取り込み/取り出しができ、3DモデルとしてはOBJ、STEP、STLなどに対応しています。バージョン2025では、シートレイヤでレイアウトした図面を線と文字のみに分解し、クリップされた簡易的なグラフィックとして取り出す機能を追加しました。またワークシートはExcel形式の取り込み/取り出しが可能で、Vectorworksで作成した一覧表を表計算アプリケーションに渡すことができます。

### プレゼンテーション データ互換

プレゼンテーションのデータ互換としては、Cinema 4D形式への取り出しのほか、リアルタイムレンダリングソフトウェアのTwinmotion、Lumion、Enscape、D5 Renderとのダイレクトリンクの活用が可能です。



# VECTORWORKS ARCHITECT

Vectorworks Architectは、高性能な2D/3D汎用図作機能と3Dビジュアライズ（テクスチャマッピング/レンダリング等）機能に加え、建築設計や内装、ディスプレイデザインに対応した先進的な建築・インテリア設計支援機能、拡張機能、さらには豊富な建築向けのデータライブラリを搭載した建築/内装業界向け製品です。

詳しくはこちらから

[https://www.vectorworks.co.jp/Vectorworks2025/vwa\\_index.html](https://www.vectorworks.co.jp/Vectorworks2025/vwa_index.html)



## ARCHITECTURE & INTERIOR DESIGN

建築・インテリア設計支援機能

### 01 階高設定と空間プログラム

階高を定義するストーリー機能によって、各階のFLを設計GLからの高さで決定できます。さらに1つのフロア内に存在する、天井や腰壁天端などのさまざまな仕上げのレベルも内包できます。建築オブジェクトは仕上げレベルに連動するため、ストーリー設定で数値を変更するだけで自動修正されます。

建築で重要な空間プログラム機能も搭載されています。スペースツールによって、それぞれの部屋の名前や天井高を定義でき、ワークシートに面積表として集計可能です。スペーススタイルを利用すると、モデリングの省力化と容易な管理が実現します。

F A L S D



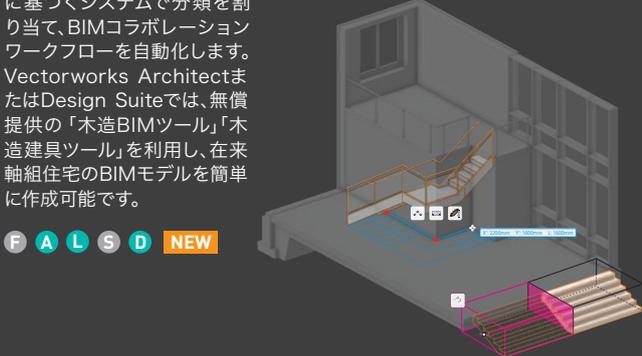
### 02 建築モデリング

すべての建築オブジェクトは、2D/3Dのハイブリッドオブジェクトなので、図面表現と3Dモデルを同時に作成できます。

複数材料で構成される壁やスラブ、屋根をスタイルとして設定できます。各種スタイルはリソースとして保存されるため、社内でも共有が可能です。

躯体以外にも、階段などのパラメトリックなツールが充実しています。バージョン2025では、一貫性のある自動化された方法で、BIM分類基準を一元管理します。オブジェクトとそのサブパーツにわかりやすいルールと基準に基づくシステムで分類を割り当て、BIMコラボレーションワークフローを自動化します。

Vectorworks ArchitectまたはDesign Suiteでは、無償提供の「木造BIMツール」「木造建具ツール」を利用し、在来軸組住宅のBIMモデルを簡単に作成可能です。



F A L S D NEW

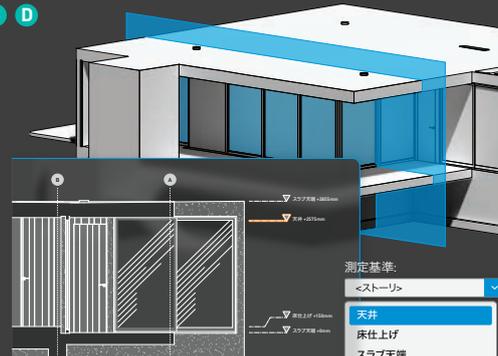
### 03 柔軟な設計図書作成

平面図をはじめ、建築設計に必要な断面図や立面図、展開図や詳細図を作成できます。(展開図はArchitect, Design Suiteのみ)

各図面はビューポートとしてシートレイヤに配置され、自動で図面ラベルを設定することも可能です。断面図や展開図の図面マーカーは、それぞれの図面とリンクしているため、3Dモデルから直接図面に移動できます。

フロアレベルの表示に必要なレベル基準線や、通り芯を表現するグリッド線を、断面図や立面図など必要な図面に自動表示できます。

F A L S D



# VECTORWORKS LANDMARK

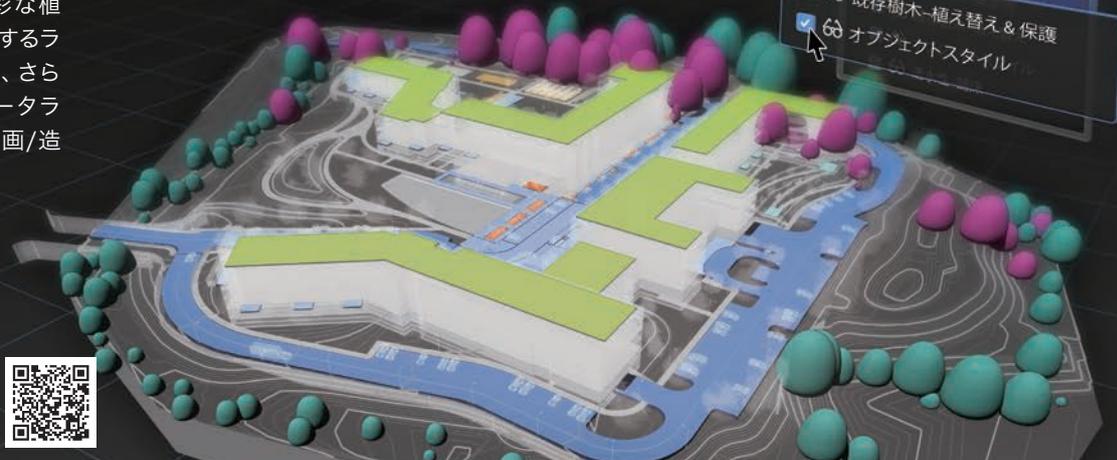
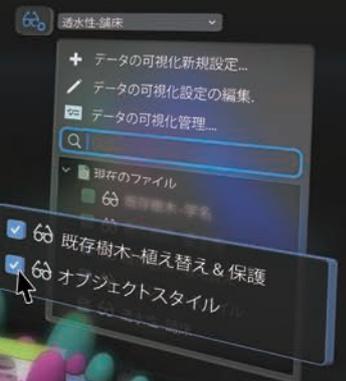
Vectorworks Landmarkは、高性能な2D/3D汎用作図機能と3Dビジュアライズ（テクスチャマッピング/レンダリング等）機能に加え、地形モデルや多彩な植栽、灌水設備計画等に対応するランドスケープデザイン機能、さらには豊富な造園向けのデータライブラリを搭載した都市計画/造園業界向け製品です。

## オブジェクトスタイル

- 雨水浸透エリア(レインガーデン)
- 軽量緑化屋根
- 砂利舗装
- 透水性コンクリートブロック舗装 (タイプA)
- 透水性コンクリートブロック舗装 (タイプB)
- 透水性コンクリートブロック舗装 (タイプC)
- 透水性アスファルト舗装

## 既存樹木 (植え替えおよび維持)

- 植え替え
- 維持



詳しくはこちらから

[https://www.vectorworks.co.jp/Vectorworks2025/vw1\\_index.html](https://www.vectorworks.co.jp/Vectorworks2025/vw1_index.html)



# LANDSCAPE & URBAN PLANNING

## 都市計画・ランドスケープデザイン支援機能

### 01 柔軟なランドスケープデザイン

作成した敷地形状や等高線からだけでなく、数値地図データや測量データ、点群データなどを取り込み、現況の地形モデルを作成できます。さらに造成面や法面を指定することで、計画地形を作成可能です。現況と計画の差分から土量を算出でき、施工計画に役立ちます。園路や植え込み部分も地形モデルに合わせて作成できるので、思い通りのランドスケープデザインを再現できます。

バージョン2025では造成面の修正機能で勾配を直感的に追加および編集することで、地形整形を高速化します。

F A L S D UP



### 02 植栽計画

2D/3Dで表現できる植物を多数搭載。学名や樹種名などが収録されているデータベースから、図面上に注釈表記も可能です。3D表現では、樹高や枝張りを設定できるので、未来予想図を提案できます。さらに、樹木調査データを取り込み、既存樹木の作成も可能なので、現況調査から計画までのワークフローを円滑にします。

F A L S D



PIRU FAMILY APARTMENTS | COURTESY OF PACIFIC COAST LAND DESIGN

### 03 エクステリアデザイン

門扉やフェンスなどを表現できる専用のツールを搭載。テクスチャを割り当てて、みす垣なども表現可能です。また、太陽光設定で時刻を設定し、屋外照明器具でライトアップされたパースを作成できます。さらに、ガーデンテーブルや椅子などのエクステリアを表現する豊富なライブラリが搭載されています。これらは2D/3Dのハイブリッドオブジェクトなので、図面にもパースにも活用できます。

F A L S D



## VECTORWORKS SPOTLIGHT

Vectorworks Spotlightは、高性能な2D/3D汎用作図機能と3Dビジュアライズ(テクスチャマッピング/レンダリング等)機能に加え、ステージプランニングやライティング計画に対応した先進的な舞台照明計画支援機能、さらには各種メーカー製のトラスや照明機材、音響機器等の豊富なデータライブラリを搭載したエンターテインメント業界向け製品です。

詳しくはこちらから

[https://www.vectorworks.co.jp/Vectorworks2025/vws\\_index.html](https://www.vectorworks.co.jp/Vectorworks2025/vws_index.html)



X+ DMX レコーディング

DMX: Love Song DMX レコーディング

02:16

01:45



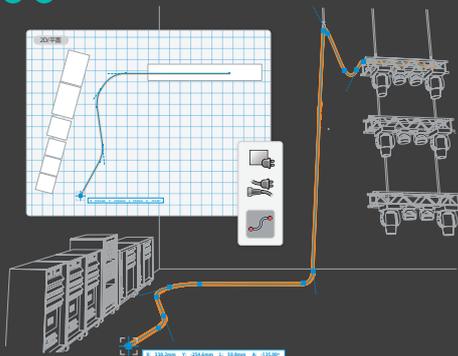
# STAGE LIGHTING & STAGE PLANNING

### ステージ・舞台照明計画支援機能

## 01 イベント・ステージデザイン

イベント計画用の専用コマンドとツールでイベント会場に必要なオブジェクトを素早く作成・配置できます。自由形状のステージも2D形状をトレースするだけで完成です。また、ステージ機器を接続するためのケーブルツールも搭載しているので、必要な長さを計画中に算出できます。客席と通路も柔軟にデザインできます。間隔を指定したり座席番号を付与することで、実際のレイアウトと同じように計画可能です。客席とステージを隔てるローパーテーションも配置できます。

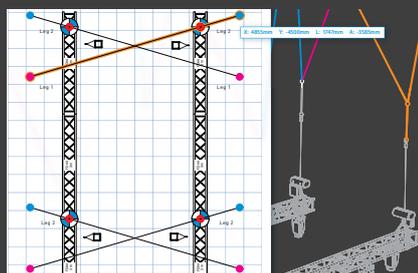
F A L S D



## 02 専門的なリギング・照明計画

メーカー製トラスを選択し、複雑なデザインのトラスを自由に組み合わせることができます。ヒンジトラスやトラス接合パーツを使うことで、よりリアルな表現が可能です。トラスを天井から吊るためのホイストやブライダルも配置できるので、必要なワイヤーの長さや固定点を正確に把握できます。4,000種類以上のメーカー製照明器具が搭載されています。各器具には、明るさや重量、照射角度が設定されているので、必要な情報を集計し確認できます。照明器具はDMXパッチコマンドでUniverseやChannelの割り当てや競合チェックが可能です。バージョン2025では、トラスの各コーナーの挿入方向をすばやく変更することができ、直感的なデザインが可能です。また、照明器具などのオブジェクトをスムーズに接続できるようになりました。

F A L S D UP



## 03 ビジュアライザーとの連携

3DモデルをDXF、C4D、3DSなどに変換でき、業界で使われている各種ビジュアライザーで利用可能です。また、業界最先端の共通ファイルフォーマットMVRをサポートしているため、VisionをはじめとするビジュアライザーとGrandMA3などのコンソールとでデータ交換ができます。照明を含むリギングやステージデザインを、スムーズに受け渡してできるので、これまでにないエンターテインメントワークフローが確立できます。バージョン2025ではGDTFマッピングを使ってファイルを最新の状態に保ち、正確な機器情報を提供することでエラーを回避できます。Vectorworks内から直接GDTF-Shareにアクセスして、GDTFファイルを一度の操作でダウンロードおよびインポートできます。また、新たに搭載されたShowcaseにより、Vectorworks内で照明プレビジュアライゼーションを完了させることができるようになりました。

F A L S D NEW



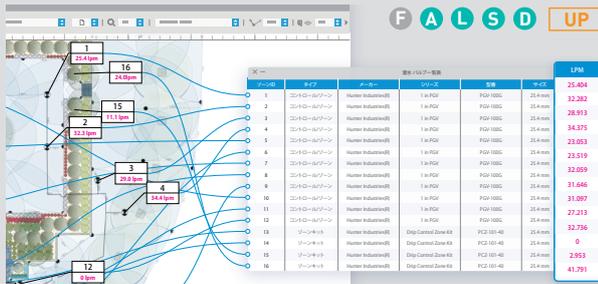
# ENHANCED DESIGN

## 拡張作図機能

### 素早い図面化を果たす強化されたデータタグ

データタグは、3Dモデルやビューポートにあるオブジェクトやシンボルの情報を表示できます。個別に、または自動的に複数のオブジェクトをタグ付けし、グラフィック表示を自由にカスタマイズできます。また、データタグの情報をワークシートに集計することも可能です。

バージョン2025では、オブジェクトのサブパーツも認識できるようサポートが拡張されました。メインのオブジェクトに紐付けたものと同様に、連結および番号付けができます。また、データタグフィールドにワークシートと同様の式と条件を使用して定義することが可能になりました。



### IFC参照で高速化するOpen BIMワークフロー

多くのファイル形式をサポートすることによって、さまざまなソフトウェアとの互換性を実現します。取り込むときはVectorworksのウィンドウにドラッグ＆ドロップするだけで、取り込み設定ダイアログボックスが表示され、素早く作業に移ることができます。

また、フィルタリングオプションにより容易にデータを管理でき、さらにマッピング機能によって、Vectorworksのファイル構成と一致させながら取り込むことができます。

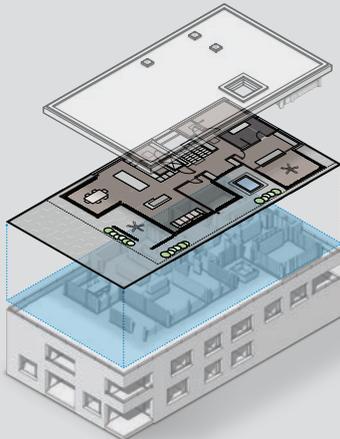
F A L S D



### 柔軟な図面表現が可能なビューポート

平面図だけでなく立面図、断面図を素早く取り出すことができます。

- 断面図では、自由形状の3Dモデルでも建築オブジェクトと包絡処理でき、切断位置の手前や奥にあるオブジェクトの表示状態を設定することで、柔軟な図面表現が可能です。
- クリップキューブの切断面や立断面記号、断面線から直接断面図を作成できます。各種ビューポートではオブジェクトの詳細度を選択し、図面の表示レベルを制御できます。
- 断面と展開図のビューポートでは、クラスごとのオブジェクト表示設定により、表現豊かな図面を作成できます。(展開図はArchitect、Design Suiteのみ)



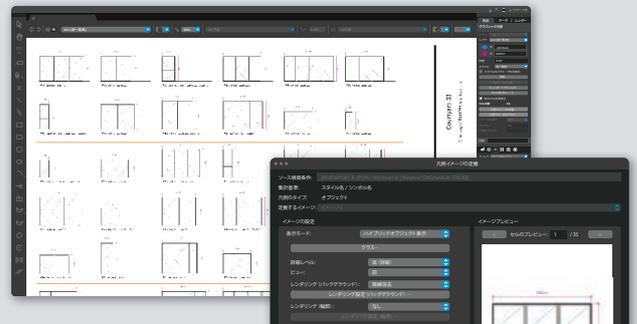
F A L S D

### 姿図付き凡例表の作成

グラフィック凡例ツールを使用することで、建具表をはじめとする姿図の付いた各種一覧表を作成できます。

Vectorworksで扱うほぼすべてのオブジェクトタイプをサポートしており、舗床や照明器具などの一覧表の作成も可能です。また、画像の整列や拡大縮小、寸法の変更、動的テキストのカスタマイズなどの編集を簡単に行うことができ、慣れ親しんだ形式で凡例表を作成することが可能です。

F A L S D



### 協働設計

追加のソフトウェアやコストを必要とせず、共有設定をしたファイルをサーバーに置くだけでプロジェクト共有を開始できます。バージョン2025では、共有方式の簡素化や、ワーキングファイルバックアップ時のファイル形式変更など、より管理がしやすくなります。

- シンボルやハッチング、壁スタイルなど共通して使うリソースは、ワークグループ機能を使うことで一元管理できます。参照元のファイルを変更するだけで、全員のリソースを更新することが可能です。
- 社内サーバーを利用したプロジェクト共有の場合、プロジェクト共有サーバーを活用できます。

F A L S D UP

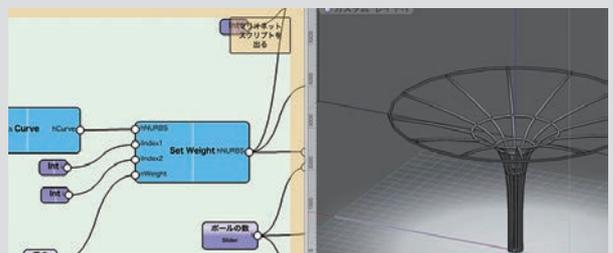


### 進化したアルゴリズムックデザイン

Vectorworksに組み込まれたビジュアルプログラミング環境、それがマリオネットです。

作業の自動化と時間短縮のためにアルゴリズムックデザインが恩恵をもたらすことは、設計者の間でより広く認知されてきています。マリオネットツールを使用することで、ノードとワイヤーという図形をつなげるだけでプログラミングが完結し、さまざまなデザインやパラメトリックオブジェクトを作成できます。

F A L S D



# ADDITIONAL SERVICE

Vectorworksを活用するためのサービス



## VECTORWORKS SERVICE SELECT

ソフトウェア  
アップデート

旧バージョンの  
使用許諾

テクニカル  
サポート

インターネット  
Liveサポート

Vectorworks  
University

セミナー価格の  
優遇

Vectorworks  
Cloud Services

Vectorworks Service Selectは、Vectorworksご利用ユーザーのための年間保守サービスです。契約期間中、Vectorworksカスタマーポータルにて、さまざまなサービスを提供します。

詳しくはこちらから

<https://www.vectorworks.co.jp/VSS/>



## PLUGIN SOFTWARE

※表記価格は消費税を含んだ税込価格です。

### ADS-BT for Vectorworks



Vectorworks上で建築設計における斜線制限と逆日影計算・等時間日影計算・天空率計算などの高さ制限解析をサポートするVectorworksプラグインです。(開発:生活産業研究所株式会社)

スタンドアロン版/ネットワーク版 275,000円

### Vectorworks素材集 3D植栽編



情感豊かな植栽表現を可能にする3D素材集。パースに季節感をだすことができる「常緑樹」「落葉樹」「低木」「草花」など使いやすい植栽をパックにしました。(開発:株式会社ユニマツリック)

33,000円

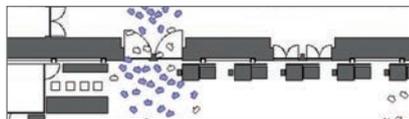
### VWbase



図面からサムネイル画像と文字列を抽出しながら図面データベースを作成する、図面管理データベースシステムです。図面文字列を対象に、分類による絞り込み、並び替え等の機能を搭載しています。(開発:株式会社 治郎吉商店)

シングルライセンス版 33,000円

### SimTread



これまで困難だった"人の流れ"や"群衆の波"を、Vectorworks上で簡単に視覚化するプラグインです。建築物や大型イベント等における誘導計画や船舶、旅客機などの避難シミュレーションを可能にします。

※ Vectorworks Service Select、またはサブスクリプションユーザーが無償にてご利用いただけます。

### 木造BIMツール



在来軸組木造用のBIMツールです。専用ツールで作成される柱や筋交い、梁、桁は、ストーリーのレベル高に追従させることができ、筋交いは、部材の長さから壁実長が計算され、タイプから壁倍率が自動計算される機能を搭載しています。

※ Vectorworks Architect、Landmark または Design Suiteで無償にてご利用いただけます。

### 木造建具ツール



木造建築設計において日本の建具を配置、図面化できるプラグインです。日本の住宅設計によく使用される建具を玄関ドアや室内ドアなど12のツールに集約。パラメータ変更によって100種類以上の建具(2D図面/3Dモデル)を再現できます。

※ Vectorworks Architect または Design Suiteで無償にてご利用いただけます。

### その他無償提供プラグイン

- 平均地盤面計算ツール
- カラー情報ツール
- 連続編集ツール
- 配管パスツール
- DICカラーガイド
- スイッチ・コンセントツール
- 接円・周長円ツール
- 放射状複製ツール
- パス押し出しオフセットツール
- 曇ツール
- 懸垂線ツール
- 関数曲線ツール
- 構成要素注釈ツール

詳しくはこちらから

[https://www.vectorworks.co.jp/ct/dl\\_pdl.html](https://www.vectorworks.co.jp/ct/dl_pdl.html)



## EXPERIENCE

### Vectorworks Design Blog

Vectorworksをより深く活用するための情報サイトです。Architect・Landmark・Spotlightの各プロダクトの解説講座や、実際に多く寄せられるご質問を、詳しく解説した記事を掲載しています。

詳しくはこちらから

<https://bim.vectorworks.co.jp/blog/>

### Vectorworks ユーザーフォーラム

ユーザー同士が自由にVectorworksについて質問したり、自作のリソースをアップロードするなど、Vectorworksをさらに活用できる環境を目指すサイトです。基本的な操作方法から、建築などの専門的な利用方法まで多岐にわたるフォーラムをご用意しています。

詳しくはこちらから

<https://www.vectorworks.co.jp/forum/>

### Vectorworks 操作技能認定試験

Vectorworksの基本操作技能を習得していることを認定する試験です。IBT形式(インターネットに接続した環境でコンピュータを利用した試験)で気軽に受験でき、Vectorworksスキルの確認や証明にお役立ていただけます。

詳しくはこちらから

<https://www.vectorworks.co.jp/exam/>

# LEARNING

Vectorworksを学んで、一步先のスキルを身に付ける

## LEARNING

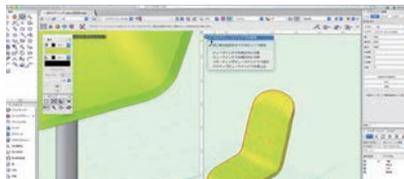


### Vectorworks University

Vectorworksを学ぶためのコンテンツを集約した、総合的な学習サイトです。はじめてVectorworksに触れる方向けの2D、3Dの基本操作の動画のほか、データベースやワークシートなど、経験者でも便利なテクニックを学べるコンテンツが満載です。動画はスマートフォンやタブレット端末からもご視聴いただけます。

詳しくはこちらから

<https://www.vectorworks.co.jp/univ/>



### Vectorworksセミナー

ご要望に合わせたオーダーメイド講習です。実務に合ったカリキュラム構成や新入社員向けの講習など、お客様のニーズに合わせたカリキュラムをご提案させていただきます。

詳しくはこちらから

<https://www.vectorworks.co.jp/seminar/>



### Vectorworks オープンキャンパス

全国各地で出張開催するセミナーです。操作体験セミナーや機能Tips習得のセミナー、普段お困りのことを何でもご相談いただける「よろず相談」などを行います。お近くで開催の際はぜひご参加ください。

詳しくはこちらから

<https://www.vectorworks.co.jp/oc/>



## SCHOOLS & STUDENTS

### CAD教育の授業環境を充実させるVectorworks教育支援ライセンス

#### Vectorworks 教育機関向けライセンス (無償)

学校の教室、研究室などの環境下でご利用いただける、授業環境を強力に支援するためのVectorworks永続ライセンスです。

#### Vectorworks 学生・教職員向けライセンス (無償)

設計やデザインを学ぶ学生、および教職員を対象とした無償提供ライセンスです。対象となる教育機関に在籍している方は1年間無償でVectorworksライセンスをご利用いただけます。

#### Vectorworks student2PRO

#### STUDENT 2PRO

Vectorworks学生・教職員向けライセンス (旧Vectorworks 学生単年度版を含む) をご利用になられた学生のみ特別価格でスタンドアロン版永続ライセンスへの乗り換えができるスペシャルプランです。

詳しくはこちらから

<https://www.vectorworks.co.jp/student2pro/>



### OASIS(オアシス) Vectorworks教育支援プログラム

OASISとはVectorworksを使った授業に取り組まれているみなさまのために設立された教育支援プログラムです。「デザインの時間をより多く」をモットーに、これまでVectorworks活用のための支援サポート・サービスを提供してまいりました。2024年度よりOASISは「OASISアカデミック」「OASISキャリア」と窓口を分け、OASIS登録校へのより最適な支援サポート・サービスを目指します。

#### OASIS

##### 「OASISアカデミック」

大学、短期大学、専門学校、高等専門学校などVectorworksを使用した教育カリキュラムを実施する教育機関向けの支援サービスです。

##### 「OASISキャリア」

キャリアアップスクール、職業能力開発大学校などVectorworksを使用した講習、講座を実施する機関向けの支援サービスです。



登録校向けVectorworks学習教材をご提供 (無償)

詳しくはこちらから

<https://www.vectorworks.co.jp/OASIS/>



# SYSTEM REQUIREMENTS

## Vectorworks 2025 動作環境

条件を満たしていない場合、Vectorworksが正常に起動しない場合があります。  
Vectorworksを快適にご使用いただくために、条件を満たしたパソコンでご使用になることを強くお勧めします。

### スタンドアロン版 動作環境

スタンドアロン版 (永続ライセンス/サブスクリプションライセンス)			
	Windows	Mac	
OS	Windows 11 Windows 10 (64bit)	macOS 15 (Sequoia) macOS 13 (Ventura)	macOS 14 (Sonoma)
	エントリー	ミドル(推奨)	ハイエンド
目安となるデータの規模	<ul style="list-style-type: none"><li>2D図面</li><li>簡単な3Dモデリング</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>詳細な2D図面</li><li>詳細な3Dのモデリング</li><li>小中規模BIM</li><li>レンダリング</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>詳細な2D図面</li><li>非常に複雑かつ詳細な3Dモデリング</li><li>大規模BIM</li><li>レンダリング</li><li>Showcase機能を使用したプリビズ</li></ul>
CPU	<ul style="list-style-type: none"><li>Intel Core i5 または AMD Ryzen 5、またはそれと同等以上のもの</li><li>Apple M1以上</li></ul> <small>※ARM系プロセッサを搭載したWindows PCはサポートされていません。</small>	<ul style="list-style-type: none"><li>6コア以上搭載で2GHz以上の Intel Core i7 または AMD Ryzen 7、またはそれと同等以上のもの</li><li>Apple M1 Pro以上</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>8コア以上搭載で3GHz以上の Intel Core i7 または AMD Ryzen 7、またはそれと同等以上のもの</li><li>Apple M1 Max以上</li></ul>
メモリ	8GB以上	16GB以上	32GB以上
グラフィックス	以下の条件を満たすグラフィックカード <ul style="list-style-type: none"><li>Windows: DirectX 11互換、2GB以上のVRAM</li><li>Mac (Intel): Metal GPUFamily1以上、2GB以上のVRAM</li><li>Mac (Mシリーズ): M1 8GB以上</li></ul> <small>※CPU内蔵グラフィックスは非推奨。やむをえずCPU内蔵グラフィックスを使用する場合は、Intel Iris, Iris Pro/Iris Plus/Iris Xeをご使用ください。Intel HD Graphics/UHD Graphicsでは正常に動作しない場合があります。</small>	以下の条件を満たすグラフィックカード <ul style="list-style-type: none"><li>Windows: DirectX 11互換、4GB以上のVRAM</li><li>Mac (Intel): Metal GPUFamily1 v4以上、4GB以上のVRAM</li><li>Mac (Mシリーズ): M1 Pro 16GB以上</li></ul>	以下の条件を満たすグラフィックカード <ul style="list-style-type: none"><li>Windows: DirectX 11互換、8GB以上のVRAM</li><li>Mac (Intel): Metal GPUFamily2以上、8GB以上のVRAM</li><li>Mac (Mシリーズ): M1 Max 32GB以上</li></ul>
ディスク容量	55GB以上 (オプションライブラリ33GBを含む) <ul style="list-style-type: none"><li>フラッシュストレージ (SSD) にVectorworksをインストールすることで動作速度が向上します。</li></ul>		
画面解像度	1440 x 900以上	1920 x 1080以上	
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>インストール、アクティベーション、アップデートのためのインターネット接続環境が必要です。</li><li>ご使用にあたり製品のユーザー登録、Vectorworksアカウントの登録が必要です。</li><li>大文字と小文字を区別するファイルシステムはサポートされていません。</li><li>日本語OS環境でご利用ください。</li><li>Redshiftを利用するレンダリングはRedshift動作環境をご確認ください。</li></ul>		

※記載されている情報は2024年10月現在のものです。より詳細な情報につきましては、弊社Webサイトをご確認ください。

### Redshift動作環境

「Redshift by Maxon」レンダリングスタイルは、コンピューターのGPUとCPUを使用してフォトリアスティックレンダリングを実行します。動作要件を満たす場合、RedshiftはコンピューターのGPUをレンダリングに使用します。GPUが要件を満たさない場合は、コンピューターのCPUのみがRedshiftレンダリングの実行に使用されます。

	GPUとCPUを使用			
	Windows		Mac	
CPU	最小 SSE2対応のプロセッサ (Pentium4以上)	推奨 3.0GHz以上のIntel Core i7 または Xeon、またはそれと同等以上のもの	最小 SSE2対応のプロセッサ (Pentium4以上) Apple M1以上	推奨 3.0GHz以上のIntel Core i7 またはXeon、またはそれと同等以上のもの Apple M1 Max以上
メモリ	8GB	16GB	Intel Mac: 8GB Mシリーズ: 16GB	Intel Mac: 16GB以上 Mシリーズ: 32GB以上
グラフィックス	8GB以上のVRAMを搭載したCUDA5.0以上のNVIDIAのシングルGPU	16GB以上のVRAMを搭載したCUDA7.0以上のNVIDIAのマルチGPU	Apple M1、もしくは8GB以上のVRAMを搭載したAMD Navi、あるいはVega以降のシングルGPU	Apple M1 Max以上、もしくは8GB以上のVRAMを搭載したAMD Navi、あるいはVega以降のマルチGPU
	CPUのみ使用			
	Windows		Mac	
OS	Windows 10 (64bit) 以降		macOS 12(Monterey)以降	
CPU	SSE2対応のプロセッサ (Pentium4以上)		SSE2対応のプロセッサ(Pentium4以上) Apple M1以上	
メモリ	8GB以上		Intel Mac: 8GB以上 Mシリーズ: 16GB以上	

※記載されている情報は2024年10月現在のものです。より詳細な情報につきましては、弊社Webサイトをご確認ください。 ※RedshiftをサポートしているAMD GPUについての情報は、弊社Webサイトをご確認ください。



## ネットワーク版 動作環境

### Vectorworks 2025 ネットワーク版 クライアント (永続ライセンス)

動作環境	Vectorworks 2025 スタンドアロン版の動作環境に準じます。 ※Vectorworks 2025版のVectorworks Site Protection Server (ライセンス管理ソフトウェア) が必要です。
スタンドアロン版との差異	Vectorworksクライアントから直接インターネット経由のアクティベーションは行いません。

### Vectorworks Site Protection Server (ライセンス管理ソフトウェア)

	Windows	Mac	
OS	Windows 11 Windows 10 (64bit) Windows Server 2019以上	macOS 15 (Sequoia) macOS 13 (Ventura) macOS 11 (Big Sur)	macOS 14 (Sonoma) macOS 12 (Monterey)
起動認証方式	インターネット経由のアクティベーション		
CPU	64-bit Intel Core 2 Duo以上		
メモリ	4GB以上		
ディスク容量	100MB以上		
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>•サーバー専用のパソコンを推奨します。</li> <li>•アクティベーションのためのインターネット接続環境が必要です。</li> <li>•TCP / IPプロトコルが必要です。</li> <li>•100Mbps以上の速度のネットワーク回線が必要です。</li> <li>•サーバー / クライアント型のネットワーク環境、またはそれに準じたネットワークが整備された環境が必要です。 ※サーバーとクライアントは同一ネットワーク上で使用してください。</li> <li>•サーバーアプリケーション管理のためのブラウザソフトが必要です。 ※サーバー管理画面は英語表記になります。</li> <li>•対応クライアントアプリケーション <ul style="list-style-type: none"> <li>•Vectorworks 2018~2025 ネットワーク版</li> <li>•Vectorworks 2015~2017 サイトプロテクションネットワーク版</li> <li>•Vectorworks 2014 ネットワーク版 シリーズG</li> </ul> </li> </ul>		

## セットアップマニュアル

スタンドアロン版向けのインストールから起動までを解説したガイドや、Vectorworksネットワーク版のサーバー、クライアントの設定手順を記載したガイド等、Vectorworksの設定をサポートするドキュメントを各種公開しています。

ダウンロードはこちらから [www.vectorworks.co.jp/ct/dl\\_manual.html](http://www.vectorworks.co.jp/ct/dl_manual.html)



## VECTORWORKS 2025 評価版

Vectorworks製品を導入する前に、ご使用のパソコン上で正常に動作するか評価版を使用して確認することをお薦めします。評価版ではVectorworks 2025 各プロダクト製品の性能・機能をお試しいただけます。

ダウンロードはこちらから [www.vectorworks.co.jp/ct/dl\\_experience.html](http://www.vectorworks.co.jp/ct/dl_experience.html)



最新の情報は弊社Webサイトをご確認ください。  
<https://www.vectorworks.co.jp/Support/sysreq/vw2025.html>





## 製品価格一覧

表記価格は消費税を含んだ税込価格です。

### スタンドアロン版

	製品名	年間サブスクリプション		月間サブスクリプション
		型番	標準価格	標準価格
サブスクリプション ライセンス <sup>*1</sup>	Design Suite 2025 サブスクリプション	SUBD30Y	264,000円	26,400円
	Architect 2025 サブスクリプション	SUBA30Y	198,000円	19,800円
	Landmark 2025 サブスクリプション	SUBL30Y	198,000円	19,800円
	Spotlight 2025 サブスクリプション	SUBS30Y	198,000円	19,800円
	Fundamentals 2025 サブスクリプション	SUBF30Y	132,000円	13,200円

※月間サブスクリプションは、直接ベクターワークスジャパンへの申し込みとなります。販売店/家電量販店経由ではお申し込みいただけません。

	製品名	ライセンスのみ		+1年保守契約 (Vectorworks ServiceSelect/バンドル) <sup>*1</sup>	
		型番	標準価格	型番	標準価格
永続ライセンス	Design Suite 2025 スタンドアロン版	124275	676,500円	C124275	709,500円
	Architect 2025 スタンドアロン版	124272	523,600円	C124272	553,300円
	Landmark 2025 スタンドアロン版	124273	523,600円	C124273	553,300円
	Spotlight 2025 スタンドアロン版	124274	523,600円	C124274	553,300円
	Fundamentals 2025 スタンドアロン版	124271	393,800円	C124271	435,600円
乗換版 <sup>*1</sup> (Service Select/バンドル製品)	Architect 2025 スタンドアロン版 乗換版			BC124272	474,100円
	Landmark 2025 スタンドアロン版 乗換版			BC124273	474,100円
	Spotlight 2025 スタンドアロン版 乗換版			BC124274	474,100円
student2PRO サービス版 <sup>*2</sup>	Design Suite 2025 スタンドアロン版 student2PROサービス版	SPXD30	405,900円	SPVD30	486,200円
	Architect 2025 スタンドアロン版 student2PROサービス版	SPXA30	314,600円	SPVA30	379,500円
	Landmark 2025 スタンドアロン版 student2PROサービス版	SPXL30	314,600円	SPVL30	379,500円
	Spotlight 2025 スタンドアロン版 student2PROサービス版	SPXS30	314,600円	SPVS30	379,500円

	製品名	型番	標準価格		
		型番	標準価格		
スタンドアロン版 モジュール追加	Architect モジュール 2025 スタンドアロン版 (Fundamentals 2025への追加用)	VRAR30	129,800円		
	Landmark モジュール 2025 スタンドアロン版 (Fundamentals 2025への追加用)	VRLR30	129,800円		
	Spotlight モジュール 2025 スタンドアロン版 (Fundamentals 2025への追加用)	VRSR30	129,800円		
	Design Suite モジュール 2025 スタンドアロン版 (Fundamentals 2025への追加用)	VRCR30	282,700円		
	Design Suite モジュール 2025 スタンドアロン版 (Architect 2025への追加用)	ARCR30	152,900円		
	Design Suite モジュール 2025 スタンドアロン版 (Landmark 2025への追加用)	LRCR30	152,900円		
	Design Suite モジュール 2025 スタンドアロン版 (Spotlight 2025への追加用)	SRCR30	152,900円		

※1 製品購入の際、ご購入先に専用申込書または専用申込書 兼 契約申込書のご提出が必要な製品です。また、Service Select/バンドル製品は販売期間が通常製品と異なります。

※2 在学中にVectorworks学生・教職員向けライセンス (旧学生単年度版を含む) をご利用されていた方を対象とした製品です。

※インストールメディアは付属しません。インストールプログラムは専用サイトからダウンロードして入手いただけます。

### ネットワーク版

	製品名	ライセンスのみ		+1年保守契約 (Vectorworks ServiceSelect/バンドル) <sup>*1</sup>	
		型番	標準価格	型番	標準価格
Fundamentals ネットワーク版	Fundamentals 2025 ネットワーク版 基本パッケージ (5ライセンス同梱)	N300000	1,969,000円	CN300000	2,178,000円
	Fundamentals 2025 ネットワーク版 追加ライセンス (合計1-5ライセンス単価)	N300001	393,800円	—	—
	Fundamentals 2025 ネットワーク版 追加ライセンス (合計6-10ライセンス単価)	N300002	355,300円	CN300002	401,500円
	Fundamentals 2025 ネットワーク版 追加ライセンス (合計11-20ライセンス単価)	N300003	308,000円	CN300003	358,600円
	Fundamentals 2025 ネットワーク版 追加ライセンス (合計21-30ライセンス単価)	N300004	280,500円	CN300004	334,400円
	Fundamentals 2025 ネットワーク版 追加ライセンス (合計31-40ライセンス単価)	N300005	261,800円	CN300005	316,800円
	Fundamentals 2025 ネットワーク版 追加ライセンス (合計41-50ライセンス単価)	N300006	242,000円	CN300006	299,200円
	Fundamentals 2025 ネットワーク版 追加ライセンス (合計51-200ライセンス単価)	N300007	234,300円	CN300007	292,600円
	Fundamentals 2025 ネットワーク版 追加ライセンス (合計201ライセンス以上単価)	N300008	227,700円	CN300008	286,000円
ネットワーク版 モジュール追加	Design Suite モジュール 2025 ネットワーク版	N300009	282,700円	CN300009	273,900円
	Architect モジュール 2025 ネットワーク版	N300010	129,800円	CN300010	117,700円
	Landmark モジュール 2025 ネットワーク版	N300011	129,800円	CN300011	117,700円
	Spotlight モジュール 2025 ネットワーク版	N300012	129,800円	CN300012	117,700円

※追加ライセンス単価は、同バージョン内での追加購入後の合計ライセンス数が適用となります。

※インストールメディアは付属しません。インストールプログラムは専用サイトからダウンロードして入手いただけます。

### インストールメディア

	製品名	型番	標準価格
インストールメディア	Vectorworks 2025インストールメディア (USB)	P30001	6,050円

### Vectorworks Service Select契約 (年間保守サービス)

	製品名	型番	新規契約1年	型番	更新価格1年
		型番	標準価格	型番	標準価格
スタンドアロン版用	Service Select Design Suite スタンドアロン版	CR2712	134,200円	CR27R03	134,200円
	Service Select Architect スタンドアロン版	AR2712	107,800円	AR27R03	107,800円
	Service Select Landmark スタンドアロン版	LR2712	107,800円	LR27R03	107,800円
	Service Select Spotlight スタンドアロン版	SR2712	107,800円	SR27R03	107,800円
	Service Select Fundamentals スタンドアロン版	VR2712	81,400円	VR27R03	81,400円
ネットワーク版用	Service Select Fundamentals ネットワーク版	VR2712G	81,400円	VR27GR03	81,400円
	Service Select Design Suite モジュール ネットワーク版	CR2712G	52,800円	CR27GR03	52,800円
	Service Select Architect モジュール ネットワーク版	AR2712G	26,400円	AR27GR03	26,400円
	Service Select Landmark モジュール ネットワーク版	LR2712G	26,400円	LR27GR03	26,400円
	Service Select Spotlight モジュール ネットワーク版	SR2712G	26,400円	SR27GR03	26,400円

※次年度更新価格は2024年10月時点の価格を元に試算しています。価格は予告なく変更になる場合があります。



**VECTORWORKS®**  
A NEMETSCHek COMPANY

## ベクターワークスジャパン株式会社

<https://www.vectorworks.co.jp>

製品に関するお問い合わせ

営業部

一般の方：market@vectorworks.co.jp

販売店：aa\_sl-team@vectorworks.co.jp

## Vectorworks Japan Store

<https://store.vectorworks.co.jp>

©2024 Vectorworks, Inc. Vectorworks、Renderworks、BraceworksとConnectCADはVectorworks, Inc.の登録商標です。SmartCursorとVectorScriptはVectorworks, Inc.の商標です。VisionはVectorworks, Inc.の製品です。すべての権利はVectorworks, Inc.が保有しています。Windowsは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。Mac、macOSは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。その他記載されている会社名および商品名などは該当する各社の商標または登録商標です。使用しているイメージはVectorworks Design Suiteを使用し、一部、画像処理を行っているものが含まれています。製品の仕様、サービス内容等は予告なく変更することがあります。

NANAIMO CRUISE SHIP TERMINAL | COURTESY OF CHECKWITCH POIRON ARCHITECTS AND HA PHOTOGRAPHY

2024.11

お問い合わせ

Vectorworks Japan Co., Ltd. and its licensors. All rights reserved. Printed in Japan. 241119 AI